

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	要介護状態に陥らないための短期集中予防サービスの取組
------	----------------------------

現状と課題					
<p>平成 28 年度に実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、運動器機能リスク該当者が 11%、栄養改善リスク該当者が 7.7%、口腔機能リスク該当者が 21.8%となっている。また、ニーズ調査の各回答項目を老研式活動能力指標に当てはめた結果、「やや低い」、「低い」を合わせると 26.2%と総合評価が低いと判定されている。</p> <p>これらに該当する市民を含め、虚弱状態（又はプレフレイル）から要介護状態にならないための支援が必要である。</p>					
第 7 期における具体的な取組					
<p>・要支援者及び、基本チェックリストにより虚弱状態と判定された事業対象者に対し、要介護状態に陥ることなく自立した生活を送ることができるよう、総合事業において短期集中予防サービスを行う。</p> <p>※運動器の向上・・・「ときも運動教室」（通所型（短期集中予防）サービス） 低栄養の改善・・・「いきいき栄養訪問」（訪問型（短期集中予防）サービス）</p>					
目標（事業内容、指標等）					
成果指標		平成 29 年 度	平成 30 年 度	平成 31 年 度	平成 32 年 度
ときも運動教室参加者数（人／年）	目標	420	520	520	520
	実績	407	371		
いきいき栄養訪問（人／年）	目標	13	16	20	22
	実績	10	12		
目標の評価方法					
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> ■ 実績評価のみ ● 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ ときも運動教室といきいき栄養訪問のそれぞれの利用者数を計上。 ・ ときも運動教室といきいき栄養訪問の利用者数は、3 月末での実人数を計上。 					

年度	平成 30 年度
----	----------

後期（実績評価）	
<ul style="list-style-type: none"> ● ときも運動教室（通所型（短期集中予防）サービス） <ul style="list-style-type: none"> ・ ときも運動教室を 9 箇所（H30 年度当初は 10 箇所）で開催 ・ 教室 1 コース（3 ヶ月間）を 4 回開催 （1 回目 4 月～6 月 2 回目 7 月～9 月 3 回目 10 月～12 月 4 回目 1 月～3 月） ● いきいき栄養訪問（訪問型（短期集中予防）サービス） <ul style="list-style-type: none"> ・ 低栄養リスクのある対象者に対し、管理栄養士や歯科衛生士が訪問し栄養改善にかかる指導を行う。 	
自己評価結果	
<ul style="list-style-type: none"> ● ときも運動教室参加者数【○】 ときも運動教室参加者数 【参考】H30 目標：520 人 H30 実績：371 人 達成率 71.3% ● いきいき栄養訪問【○】 いきいき栄養訪問 【参考】H30 目標：16 人 H30 実績：12 人 達成率 75% 	
課題と対応策	
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ときも運動教室の H30 の達成率が 71.3%となっている。また、参加者は年々減少して（H28：409 人→H29：407 人→H30：371 人）いる状況である。 ・ いきいき栄養訪問の H30 の達成率が 75%となっており目標に達していない。中には、事業の対象者（低栄養に該当）になっても事業実施に至らない方もいる。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動器機能の維持・向上、栄養（改善）や、口腔ケアなど、介護予防の重要性についての認識をさらに広げるため、広報やホームページ、パンフレット、講演会など様々な方法により周知・啓発を行う。 ・ 短期集中予防による支援が必要な方が事業につながるよう、市が行う様々なイベント（高齢者が対象のイベントに限らない）においてチェックリストを配布するなど、広く事業周知を行う。 	